

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/08/14号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

年初来高値を更新、需給ひっ迫の織り込み続く

NY原油先物相場は、1バレル=84.89ドルまで値上がりし、昨年11月17日以来の高値を更新した。需給ひっ迫化に対する警戒感が根強く、押し目買い優勢の展開が続いている。米国債に続いて米銀行の格下げを受けて、リスクオフ環境から調整売りが膨らむ場面も見られたが、押し目は早めに買い拾われる展開になっている。4月12日高値を上抜き、年初来高値更新でチャート主導の買い圧力も強かった。

国際エネルギー機関（IEA）は8月11日に公表した月報で、年内に石油在庫が減少し、石油価格が一段と上昇する可能性があるとの見方を示した。石油輸出国機構（OPEC）プラスの供給が抑制されているため、現在のOPECプラスの供給目標が維持された場合には、7～9月期に日量220万バレル、10～12月期に120万バレル、世界の石油在庫が減少する可能性が指摘されている。来年の石油需要の伸びは日量100万バレルと今年の220万バレルから急減速する見通しも示されているが、当面の需給ひっ迫化の流れを織り込む展開が維持された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月4日時点）は、原油が前週比585万バレル増、ガソリンが266万バレル減、石油精製品が171万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫見通しが強化される、期近主導の上昇地合が続く

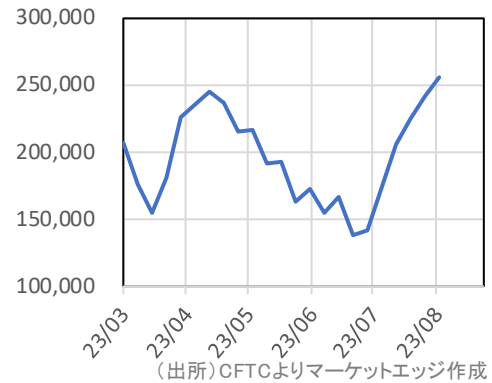
需給ひっ迫見通しが維持される中、上値追いの展開が維持されよう。世界の石油在庫の取り崩しに対する信頼感が一段と高まっており、期近限月主導の上昇地合が続く見通し。短期的な過熱感から調整リスクも高めの状態にあるが、押し目は早めに買い拾われる可能性が高い。85ドルの上は90ドルまで上値抵抗が切り上がる。

突発的な買い材料に対する反応ではなく、マクロ需給ひっ迫見通しを背景とした上昇相場のため、基調は強い。前週は国際エネルギー機関（IEA）も改めて7～9月期と10～12月期の世界石油在庫の減少、価格上昇の可能性に言及しており、石油セクター全体に対する投資家の物色意欲が強くなっている。業績拡大の一服感から伸び悩んでいた石油株に対しても投機マネーの流入傾向が強くなっている。

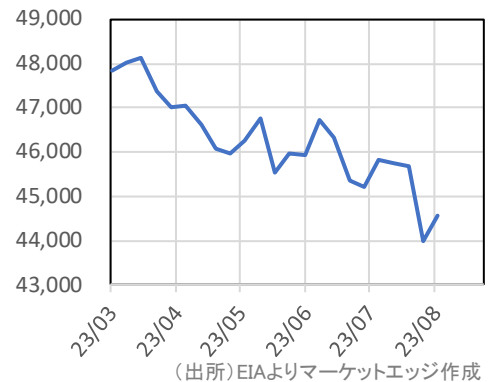
特に米原油、石油製品在庫の減少といった需給ひっ迫見通しを強化する動きがみられると、買い安心感が強まろう。逆サヤ（期近高・期先安）拡大を伴った上昇地合は、需給ひっ迫の織り込みが強化されていることを明確に示唆している。ウクライナとロシアの戦闘激化で黒海の供給不安が重視されると、上昇ペースが加速する可能性もある。

一方、下落リスクとしては引き続き中国経済の減速懸念に注意が求められる。中国政府の景気刺激策に対する期待感が後退する中、非鉄金属相場を中心に中国経済の減速懸念を織り込む動きが改めて強くなっている。8月15日に中国の7月鉱工業生産、7月小売売上高などが発表されるが、改めて石油需要不安を織り込むような展開には注意が求められる状況が続く。

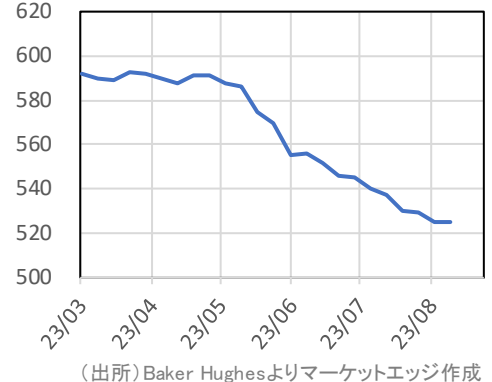
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

